

2026年1月16日
養老鉄道株式会社

保安監査の結果に対する改善措置について

当社は、2025年6月6日および7月6日に、列車の運転免許を有しない駅係員が営業列車を運転していたことが判明し、2025年11月5日および6日に中部運輸局から保安監査を受けました。ご利用のお客様をはじめ関係する皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしたこと、改めて心よりお詫び申し上げます。

本事案について、2025年12月17日に中部運輸局から保安監査の結果を受領するとともに、改善措置を講ずるよう指示を受けました。これらを受け、2026年1月16日、中部運輸局に改善措置を報告いたしましたのでお知らせいたします。

当社としては、本事案を厳粛に受け止め、今後二度とこのような事態が発生しないよう、改善措置の実施に全力で取り組んでまいります。

なお、本事案に関する経営責任の所在を明確にするため、下記の通り役員報酬を自主返納するとともに、社内関係者に対して規程に基づき処分を実施します。

1. 改善措置の内容

(1) 運転免許を受けていない係員に操縦させない、正当な理由なく乗務員室に立ち入らせないための規程類の改正

乗務員室へ立ち入る際の内規を改正し、再教育等を実施します。内規には「運転士は乗務員室に入室した係員に運転操作および扉取扱いをさせてはならない」と明記する等、乗務員室に入室した係員の禁止事項、乗務員室に入室する時機等を具体的に規定しました。

(2) 乗務員室に入室する鍵の管理方の変更

乗務員室に入室する鍵の管理方を変更し、運転士（運転士見習を含む）への鍵の個人貸与を廃止し、乗務点呼時に貸与し乗務終了時に返却させることとし、運転鍵の管理の厳正化を図ります。

(3) 全社員に対する法令及び規程類の再教育の実施

全社員に対し、法令及び規程類の再教育を実施しました。また、年間指導計画に法令遵守に関する内容を明記し、定期的に教育指導を実施するとともに、経験の浅い運転士に対するフォローアップ教育を充実させます。

(4) 鉄道輸送の安全を確保するため、運転管理者を含む責任者自ら問題点を早期に見つけ改善することができる安全管理体制を強化

- ・全社員に対して、社内アンケートを実施し、課題や要望などの聴取を行いました。

- ・本社入口に目安箱を設置、社内の問題点等を早期に把握し、早期に対応することで社内の風通しを改善します。
- ・安全に関する会議体制を見直すとともに、安全統括管理者および運転管理者が、職場巡視および社員の面談を定期的に実施、課題や要望などを聴取し、今後の改善につなげます。
- ・乗務員室にドライブレコーダーを設置すべく、試行設置し検証します。
- ・社長を最高責任者とする特別監査チームを編成し、法令倫理の遵守状況等に関する全社的な総点検を実施します。

2. 無資格運転事案に関する経営責任の所在の明確化

無資格運転に関する経営責任の所在を明確にするため、以下の通り役員報酬の自主返納を実施します。

- ・無資格運転発生時の取締役社長 大内 敬弘 報酬月額の 20% × 1か月分
- ・無資格運転発覚時の取締役社長 宗藤 洋 報酬月額の 10% × 1か月分

以上